

BRIDGE KIDS PROGRAMS 2026

HOMESTAY GUIDEBOOK

APCCホストファミリー向け
ホームステイガイドブック



BRIDGE KIDS PROGRAMS 2026

ブリッジ サマーキャンプ

Homestay Guidebook

ホームステイガイドブック もくじ

1. アジア太平洋子ども会議・イン福岡（APCC）とは？	1
2. 参加する国・地域について	2
【重要】海外参加者の ID ナンバーについて	3
3. 準備&ホームステイ期間のスケジュール	4-7
4. 国別ミーティングについて	8-9
5. ホームステイ期間中 過ごし方のヒント	10-12
6. こんな時どうする？トラブル体験談	13-14
7. 宗教や慣習の違いを理解しよう	15
8. 帰国前の準備について	16
【参考資料】	
・APCC 用語集	17-18
・テーマソング ♪ We are the BRIDGE ♪ 歌詞（日本語・英語）	19
・団員名簿（研修会で記入します）	20
・国別ミーティング チェック表	21

このガイドブックに掲載されている文書や画像などの各ファイルとその内容に関する諸権利は、原則として APCC に帰属し、法律等によって保護されています。「私的使用のための複製」や「引用」など、著作権法上認められる場合を除き、APCC の許可なくこのガイドブックに掲載されている文書、画像などを無断使用、複製、転載、販売、改変、印刷配布することを禁止します。

1. アジア太平洋子ども会議・イン福岡（APCC）とは？

1. APCC とは？

アジア太平洋子ども会議・イン福岡とは、1989年に、福岡市制100周年を記念して開催された「アジア太平洋博覧会（通称：よかトピア）」の参加事業としてスタートし、福岡をベースに展開している民間レベルの草の根国際交流事業です。「APCC」は英語名「Asian-Pacific Children's Convention in FUKUOKA」その頭文字を取り、親しみをこめて「APCC」と呼ばれています。APCCの事業は、子ども達を対象に、国内外でのホームステイや学校体験など様々な交流機会を提供し、言葉や習慣の違いなどに触れ、お互いを分かり合う「OMOIYARI（思いやり）」の心を育んでいます。2018年、30周年を迎えたことを機に、新たに事業総称を「BRIDGE KIDS PROGRAMS」とし、より多くの福岡の子ども達が参加できるような交流機会の拡充を図っています。

2. BRIDGE KIDS PROGRAMS（ブリッジ キッズプログラムズ）とは？

APCCが提供する子ども達のための国際交流事業の総称で、以下の二つの大きな事業で構成されています。

1) BRIDGE Summer Camp

毎年夏に、世界各地から、約200名の11歳の“子ども大使”を福岡に招き、福岡の街全体をキャンプ場とみたり、寝食を共にする交流合宿、ホームステイや学校体験などダイナミックな異文化交流を繰り広げるプログラム

2) BRIDGE Challenge Trip

毎年春休みと隔年の夏休みに、福岡の子ども達を世界各地に送り出し、海外の生活文化を肌で感じ、試行錯誤しながらも異文化コミュニケーションにチャレンジしてもらう海外派遣プログラム

招聘型



派遣型



3. 誰が運営しているの？

公的機関からの助成金や民間企業からのご協賛、APCC事業を財政面から支援している「支援の会」からの助成など、様々な機関からご支援をいただきながら、BRIDGE KIDS PROGRAMS 実行委員会により運営されています。

そして、この事業を支える大切な存在が 市民ボランティア です。毎年、社会人・学生・主婦・シニアなど幅広い年齢層の方々、約500名の皆さんがボランティアにご登録いただき、黄色のボランティアポロシャツを着て、活躍しています。ボランティアは様々なグループ（部会）に分かれて活動をします。

この他に、「NPO 法人 アジア太平洋子ども会議・イン福岡」の専従職員が、コーディネーターとして約10名、事務局に常駐しています。コーディネーターは、担当部会のボランティアメンバーと協力しながら、事業が円滑に進むよう取り組んでいます。

2. 参加する国・地域について

- ・招聘国・地域数 … **33** か国・地域より、**37** 団
- ・招聘人数 … **こども大使 (JA) 172 名**
シャペロン (CP/引率者) 37 名
ピース大使 (PA) 15 名
ブリッジクラブ関係者(BCIO) 3 名

[合計 227 名]

【参加予定団・人数一覧】

国番号	国・地域	JA	CP	PA BCIO	国番号	国・地域	JA	CP	PA BCIO
2	韓国	4	1	1	22	ハワイ	4	1	1
3	香港特別行政区	*6	1	-	23	フィジー共和国	4	1	-
4	台湾	4	1	-	24	キリバス共和国	4	1	-
5	シンガポール共和国	*6	1	-	26	バブアニューギニア独立国	4	1	-
6	フィリピン共和国	4	1	1+1	28	パラオ共和国	4	1	-
7	タイ王国	*6	1	-	29	バヌアツ共和国	4	1	-
8	マレーシア	*6	1	-	34	ミクロネシア連邦	4	1	-
9	インドネシア共和国	*6	1	1	35	ミャンマー連邦共和国	*6	1	1
10	ベトナム社会主義共和国	*6	1	1	38	タヒチ	4	1	-
11	バングラデシュ人民共和国	4	1	1	40	モルディブ共和国	4	1	1
12	ブータン王国	4	1	1	41	ツバル	4	1	-
14	パキスタン・イスラム共和国	4	1	1	46	カンボジア王国	4	1	1
15	インド共和国	*6	1	1+1	51	イポー市	4	1	-
16	ラオス人民民主共和国	*6	1	-	52	オークランド市	4	1	-
17	ネパール王国	4	1	1	54	アトランタ市	4	1	1
18	モンゴル国	4	1	-	59	ペルー共和国	*6	1	-
19	スリランカ民主社会主義共和国	4	1	1	60	ホーチミン市	*6	1	-
20	オーストラリア連邦	4	1	1	61	キルギス共和国	*6	1	-
21	ニュージーランド	4	1	-					
合計							172	37	18

※ 各団のこども大使は、4名（男女 各2名）・6名（男女 各3名／★マークがついている国・地域）で構成しています。

※ 途中、国番号が飛んでいますが、国を表す APCC 固有番号のためであり、間違いではありません。

※ 上記一覧に加え、日本のピース大使1名・日本のブリッジクラブ国際本部メンバーが1名参加予定です。

【重要】海外参加者のIDナンバーについて

APCCでは、参加者のデータを管理するにあたり、全ての海外参加者（こども大使・シャペロン・ピース大使など）にIDナンバーという6ケタの番号を割り振っています。

ホームステイ期間中、APCC 事務局にお問い合わせいただく場合、海外参加者についてお問い合わせいただく場合には、IDナンバーをお伺いすることがあります。配布しているこども大使・シャペロンのインフォメーションシートや、参加者が着用している名札に記載されています。

IDナンバーは、特に緊急の場合などに、迅速な対応のために不可欠です。必ず事前にご確認をお願いします。

<IDナンバーの見方>

- (1) 左からはじめの2ケタは**国番号**です。国番号は、前ページの表をご参照ください。
- (2) 次の1ケタは**役割**を表しています。こども大使は「0」、シャペロンは「1」が割り当てられます。
- (3) 次の2ケタは人数を表す**個人番号**で、5人団の場合、こども大使には「01」～「04」のいずれか（男子…01～02、女子…03～04）シャペロンは「05」が割り当てられています。
7人団の場合、こども大使には「01」～「06」のいずれか（男子…01～03、女子…04～06）シャペロンは「07」が割り当てられています。
- (4) 最後の1ケタは**性別**に応じて、男性＝「1」、女性＝「2」が当てられます。

<例：IDナンバー **120011** の場合>

12 国番号（＝ブータン）
0 役割（＝こども大使）
01 個人番号（＝団で1人目）
1 性別（＝男性）

<例：IDナンバー **341072** の場合>

34 国番号（＝ミクロネシア）
1 役割（＝シャペロン）
07 個人番号（＝団で7人目）
2 性別（＝女性）

3. 準備&ホームステイ期間のスケジュール

準備～ホームステイ期間のスケジュールは、現時点では以下の通りです。

今後変更の可能性がありますので、常に APCC からの最新情報をご確認ください。

<準備期間>

日時	イベント・行事名	場所
5月10日(日) 10:30～12:00	ホストファミリー研修会・ホストフレンド研修会 対象：全ホストファミリー	国際会議場 多目的ホール (福岡市博多区石城町 2-1)
5月～7月	国別ミーティング 対象：全ホストファミリー	時間・場所は、各団にて決定 ※ホームステイ開始までに2回以上の開催が理想
6月中旬(予定)	ホストファミリー リーダー会 対象：各団のホストファミリー リーダー	Zoom 開催
7月4日(土) 10:00～11:30	ホストファミリーのつどい(最終説明会) 対象：全ホストファミリー	アクロス福岡 イベントホール(B2 階) (福岡市中央区天神 1 丁目 1 番 1 号)

<フリッジサマーキャンプ開催期間中>

月	日	曜日	イベント・行事名	場所・時間
7月	10	金	入国(予備日)	海の中道青少年の家 (通称：マリンハウス) (福岡市東区西戸崎 海の中道海浜公園内)
	11	土	入国 → オリエンテーションキャンプ	
	12	日		
	13	月		
	14	火	スクールビジット・スポンサー企業 CSR 事業 等 →対面・ホームステイ開始	福岡市内の小学校や企業 ※場所・時間は団によって異なります。 詳細は後日連絡いたします。
	15	水	学校登校/ホームステイ	各家庭/各小学校
	16	木	学校登校/ホームステイ	各家庭/各小学校
	17	金	学校登校/ホームステイ	各家庭/各小学校
	18	土	ホームステイ (午後) APCC フェスティバル	各家庭/照葉積水ハウスアリーナ (福岡市総合体育館) (福岡市東区香椎照葉六丁目1番1号)
	19	日	ホームステイ	各家庭
	20	月・祝	出国	福岡空港 国内線・国際線ターミナル ※帰国日・集合時間は団によって異なります。 詳細は別紙をご覧ください。
	21	火	学校登校(福岡市終業式)/夜・出国	
	22	水	出国(予備日)	

<終了後>

8月1日(土) 14:00～15:30	ホストファミリー感想共有会 対象：希望者のみ、各団1名以上	福岡市早良区市民センター (福岡市早良区百道2丁目2番1号)
------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------

1. 入国 (7/10 金～12 日)

こども大使・シャペロンは、決められたスケジュールに沿って、各国・地域より、福岡へやってきます。入国後は、すぐにオリエンテーションキャンプに向かうため、ホストファミリーさんによるお迎えはありません。



2. オリエンテーションキャンプ (7/10 金～14 火)

入国したこども大使・シャペロンは、福岡市・東区の海ノ中道青少年海の家（通称：マリンハウス）に向かいます。オリエンテーションキャンプの主な目的は、以下の通りです。

- ・長旅の疲れや時差ボケから回復し、プログラム参加に向けて体調を整える
- ・APCC のボランティアさんと一緒に生活しながら、日本の気候や基本的な生活習慣を学ぶ
- ・他の国・地域からやってきたこども大使たちと交流する



3. スクールビジット (7/14 火) ※22 団のみ参加

オリエンテーションキャンプを終えたこども大使・シャペロンは、ホストファミリーさんとの対面まで、様々なプログラムに参加します。その一つが、「**スクールビジットプログラム**」です。スクールビジットプログラムは、APCC と福岡市教育委員会との共催事業で、こども大使・シャペロンが、国ごとに福岡市内にある小学校を訪問し、1 日国際交流をします。



スクールビジット以外に、表敬訪問、スポンサー企業・団体の CSR 活動のプログラムなどに参加する団もあります。

4. 対面の日 (7/14 火 午後) ※場所や時間は、団によって異なります。

対面の日は、こども大使・シャペロンとホストファミリーさんが、初めて出会うタイミングとなります。全員で顔合わせと最終確認をしたら、いよいよホームステイのスタートです。



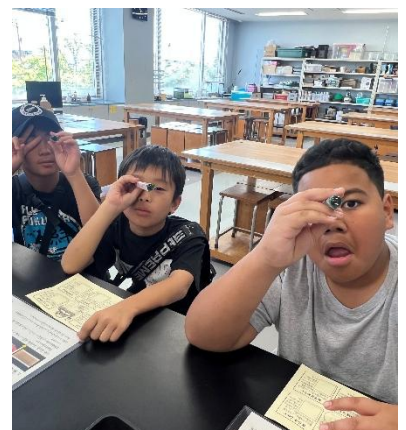
5. ホームステイプログラム (7/14 火 ~ 20 月祝・21 火・22 水 ※帰国日は団によって異なります)

ホームステイプログラムは、こども大使が一般家庭にホームステイし、日常生活を通じて、異文化体験や国際交流を深めることを目的としています。公園に行ったり、習い事に同行したり、お家でゲームをしてみたり、普段通りの生活をしてください。家族の一員として、ぜひお手伝いなども一緒にさせてみてください。信仰する宗教によっては、禁制食（食べられないもの）やお祈りの時間などがある場合があります。詳しくは、本ガイドブックの 15 ページをご覧ください。



6. 学校登校 (7/15 水 ~ 17 金・団によっては 21 火)

学校登校は、こども大使がホームステイ先の家庭のお子さん（ホストフレンド）と同じ学校に通い、日本の小学校生活を体験しながら、同年代の日本のこども達と交流させていただくことを目的としています。



7. APCC フェスティバル (7/18 土 13:00~17:30 予定)

こども大使たちは、自国の文化や伝統を発信するため、ステージで歌や踊りのパフォーマンスを行います。パフォーマンスの内容によっては、大掛かりな衣装や小道具、メイクなどの準備が必要になります。ステージの出演時間に合わせて、こども大使と一緒にご来場ください。

ステージのほか、さまざまな国と地域の遊びを体験できるブースや、ピース大使（17 ページ参照）によるファッションショーも開催します。ホストファミリー以外に、一般の方も来場いただけるイベントです。

※ステージの出演時間や、パフォーマンス前の集合時間などにつきましては、6月のリーダー会で詳しくお知らせいたします。



8. 帰国 (7/20 月祝 ~ 22 水)

帰国便は、福岡空港の国内線ターミナル、または国際線ターミナルより出発します。指定の時間に、こども大使・シャペロンを空港まで送っていただくようお願いします。

ホストファミリー以外にも、滞在中に関わったボランティアさんや関係者が見送りに来られる可能性があります。

ぜひ、みんなで温かく見送ってあげられるよう、ご協力をお願いします。



4. 国別ミーティングについて

1. 国別ミーティングの目的

APCC のホストファミリーでは、同じ国のこども大使・シャペロンを受けるホストファミリー同士が、ひとつのグループとなり、ホームステイを受け入れます。ホームステイ期間中は、予期せぬトラブルがつきものです。その際、同じ団の家族同士でサポートしあえる信頼関係、協力できる体制を作るのが、国別ミーティングの目的です。

2. 何をやったらいいの？

1. 役割分担

グループの円滑な活動のため、各グループで役割分担を行いましょ。

リーダー	1名	団をまとめて、国別ミーティングを中心になって進めていく係（シャペロンホストファミリーは、ホームステイ受け入れ期間中の緊急対応など、独自の役割があるため、リーダーにはならないように、皆様のご理解・ご協力をお願いします）
サブリーダー	1～2名	リーダーに負担が集中しないよう、リーダーをサポートをする係
対面係	2名	7/14 対面の日に、ホストファミリーとこども大使・シャペロンを引き合わせ、司会進行を行う係。スクールビジット対象の団は、会場管理を行っているスクールビジットのボランティアと打ち合わせの連絡を取り合ってください。 （シャペロンホストファミリーは、当日シャペロンに確認する事項などを、各ファミリーにお伝えすることがあるため、対面係がおすすです。）
会計	1～2名	グループでどのようにお金を管理するかはお任せしております。例えば、事前に各家庭から決まった額を少し集め、リーダー会に参加された方の交通費や、ウェルカムパーティーなどの費用にあてると、運営がスムーズに進むようです。

2. 話し合う内容の例（21 ページにも記載していますので活用してください）

1回目 (5/10 研修会)	<input type="checkbox"/> 自己紹介 <input type="checkbox"/> グループでの役割分担 <input type="checkbox"/> 連絡先交換（名刺交換） <input type="checkbox"/> 今後の連絡手段の決定 <input type="checkbox"/> 次回のミーティング日時の設定
2～3回目 (6～7月)	<input type="checkbox"/> ガイドブック（本誌）の読み合わせ <input type="checkbox"/> ホストファミリーリーダー会での連絡事項の伝達 <input type="checkbox"/> 準備・期間中のスケジュール決め <input type="checkbox"/> ウェルカムパーティー / お別れパーティーは開催する？しない？ <input type="checkbox"/> 期間中に、グループで一緒に何か行事を企画する？しない？ <input type="checkbox"/> 次回以降の国別ミーティングは、いつ、どこで、どうやって実施する？ <input type="checkbox"/> いつ、どこにシャペロンが学校登校に行く？ <input type="checkbox"/> ウェルカムグッズの作成（ウェルカムフラッグ、キャンディレイ、ウェルカムボードなど） <input type="checkbox"/> 受入国の文化・習慣についての勉強、情報交換 <input type="checkbox"/> 受入国の言葉、簡単な日常表現を学ぶ <input type="checkbox"/> 各グループでのルール決め（SNS の利用（特に写真の取り扱い）、各家庭のルール、緊急時の対応） <input type="checkbox"/> その他、何か困っていること、わからないこと等の相談
帰国後 (7～8月)	<input type="checkbox"/> 期間中の反省（来年度への引き継ぎアンケートの作成） <input type="checkbox"/> 来年、同じ国を受け入れるホストファミリーへの引継ぎ事項のまとめ、など

3. 国別ミーティングの会場

どこでやらないといけな、という決まりはありません。利便性がよく、距離・金銭的な負担があまりかからないところ、例えば、地域の公民館・コミュニティセンターなどの公共施設で実施されている方が多いようです。

場所や時間の都合がつかない場合には、Zoom などのオンラインミーティングを活用するのも一つの方法です。ただ、ホームステイ期間中にお互い助け合えるよう、ホームステイ開始前には必ずホストファミリー同士が対面してミーティングを行う機会を持っていただくようお願いします。

3. ウェルカムグッズのアイデア

こども大使やシャペロンとの対面の日に向けて、下記のような「ウェルカム！」の気持ちを表すグッズを作成する団もあります。大人の皆さんが国別ミーティングをしている間、ホストフレンド同士が協力して作業をすることで、仲良くなるきっかけにもなります。

ウェルカムフラッグ

対面の日など、初めて対面するときに掲げたり、ウェルカムパーティーを開催する際に、飾ったりします。約 90cm x 60cm ほどの「シーティング布」を使用し、受け入れるこども大使・シャペロンの国の言葉で「ようこそ」という言葉を、デザインの中に入れてください。7/4(土) のホストファミリーのついでに各国のウェルカムフラッグの写真を上映しますので、6/26 (金)までに写真データの提出をお願いします。提出方法等は別途ご連絡いたします。



【重要】 国旗使用に関する APCC ルールについて

APCC では、一部の国・地域の国旗使用に関する外務省からの指導に基づき、APCCの公式行事において各国・地域の「国旗」は使わないこととしております。団でフラッグを作成し、対面式等で使う予定がある場合には、国旗の絵やイラスト等は使用しないようお願い申し上げます。



その他のウェルカムアイデア

キャンディレイ は、定番のウェルカムグッズです。

小ぶりのお菓子やキャンディを、リボンや透明なセロファンなどを使って、首飾りのようにつなげ、歓迎の気持ちを伝えます。

インターネットに、いろいろな方法やデザインの作り方が出ていますので、ぜひオリジナルのキャンディレイを作ってみてください。

また、ウェルカムボード や ウェルカムうちわ など、よくホストファミリーの皆さんが作られています。ご自宅にある不要なうちわなどを使い、こども大使やシャペロンの名前、「Welcome」の言葉や、その国の言葉で、「こんにちは」という言葉を書いたり、折り紙などでデコレーションします。各自で作成したウェルカムグッズは、忘れずに 7 月 14 日の「対面の日」にお持ちください。



5. ホームステイ期間中 過ごし方のヒント

APCC のホームステイの目的は「日本では自分と同年代の子どもがどんな生活をしているのか、一般のご家庭にホームステイして、実際に経験しながら理解する」ことです。また、同時にホストファミリーの皆様にとっても、子ども大使やシャペロンの存在は、異文化そのものです。お互いが無理せず快適に過ごせるよう、下記の項目をヒントにしてみてください。

1. ホームステイ編

家庭でのルール（ハウスルール）

シャペロンや子ども大使は、滞在中お客様としてではなく、家族の一員として過ごします。守ってほしいルールがあれば、まず初めにきちんと説明しましょう。

ゲームの時間やお手伝いなど、子ども大使もホストフレンドと同様、家庭でのルールを守れるように、しっかり話しましょう。

日本人にとっては常識であることも、海外の人にとってはそうでないこともあります。お互いが気持ちよく過ごせるよう、意見はしっかり伝えあいましょう。

家族の紹介をしましょう

家についたら、家族の紹介をしましょう。子ども大使にとって、日本人の名前は、あまりなじみがなく、覚えにくいものです。家族の名前や呼び方を紙に書いて渡してあげると、名前も覚えやすいようです。

また、翌日からの学校登校に備えて、子ども大使の名前もカタカナで書いて教えてあげると、理解しやすいと思います。

家の中を紹介しましょう（ルームツアー）

家族の紹介や荷物の整理が終わってホッと一息ついたら、家の中を案内しましょう。トイレの位置やお風呂の使い方の説明をしたり、自由に使ってよいもの、逆に触ってほしくないもの、入ってほしくない部屋などがあれば、しっかり伝えましょう。家の中に慣れるまでは、右のようなサインを各部屋やトイレなどに付けてあげるのも、わかりやすいひとつの工夫です。



★Check Point★ お手洗いの使い方について

イスラム教やヒンドゥー教を信仰する国や地域では、お手洗いを利用する際、日本とは異なり、トイレットペーパーを利用しません。手で水洗いをするため、専用の小さいハンドシャワーがお手洗いの近くに設置されていることも多く、床は水洗いができるような仕様になっています。そのため、水でトイレや床が濡れることが日常的に当たり前なので、日本でも同じように行動してしまうことがあるかもしれません。

日本は、そのような使い方をしない文化であることを、まずしっかり伝えましょう。

ご自宅のお手洗いに「ウォシュレット」がついている場合には、それに対応できることもあるので、使い方を教えてあげてください。それでも、初めは使い方に慣れないこともあるかもしれないので、お手洗いに、**水の入ったバケツ** と **水がすぐえる小さめの洗面器**、または、**水が入ったペットボトル**などを置いてあげると安心すると思います。

それでも水でお手洗いスペースを水で濡らしてしまうこともあるかと思うので、古いタオルなども一緒に置いておき、「トイレを使っ

た後、水で濡れたら、これで拭いておいてね」と最初に教えてあげてください。また、マットやカバーなども最初から撤去しておくことをおすすめします。ホームステイ翌日から始まる学校登校や外出の際には、トイレ対応に困らないよう、水を入れたペットボトルを持参させてあげると安心すると思います。

また、日本のようにトイレットペーパーを流すことができる国は、世界でも少数派です。多くの国では、トイレットペーパーを流すことが禁止されており、お手洗いに設置されたごみ箱に捨てます。日本では、ペーパーはそのまま流してもよいことも教えてあげてください。

外出は、体調を考慮しましょう

せっかく福岡へやってきた子ども大使やシャペロンを、あちらこちらへ案内したい！という気持ちもわかりますが、子ども大使・シャペロン滞在中の計画は、ぜひ彼らの体調を考慮して計画してください。子ども大使やシャペロンは、世界中から集まった他の国の子ども大使達との交流キャンプを終えて、ホームステイにやってきます。初めてホストファミリーに会う緊張や、慣れない日本の暑さ、全く違う環境に対応するストレスなどで、疲労や体調不良を起こしてしまうこともあります。そんな時は無理に外出せず、家の中や家の周りで過ごすようにしてください。また日帰りや宿泊で旅行等に行かれる際は、緊急時にシャペロンや APCC 事務局がすぐに駆け付けられる距離内の計画をお願いします。

時間やスケジュールは余裕をもって・・・

日本人は時間に正確であろうとしますが、国によって時間の概念には大きな違いがあります。学校登校、待ち合わせなど、集合時間が決まっている外出には、しっかりと出発時刻を伝え、時間にはゆとりをもってご準備下さい。

また、自分の行動予定がわからないと、子ども大使もシャペロンも不安になります。今日は（明日は）何をするか、どこへ行くか説明してあげてください。

お互いに無理をしないことが、とても大切

スーパーへの買い物、一緒に料理を作ってみる、近所の子もたちと公園で遊ぶなど、身近なことが大きな思い出になることも珍しくありません。中には、お出かけなどを計画して下さるご家庭もあるかもしれませんが、金銭的にも体力的にも無理の無い範囲でお願いします。また、子ども大使・シャペロンとも、私的な買い物や個人的な行動に伴う費用は、自分で負担するようになっています。子ども大使・シャペロンはお客様ではありません。過度に気を遣ったり遠慮したりせず、「親戚の子が来た！」くらいの心構えで、気軽に接してあげると良いと思います。



2. 学校登校編

学校にはどのように伝えればよいですか？

5月10日（日）に、「学校登校依頼書」を配布いたします。5月中に学校に提出をお願いいたします。

学校登校は、学校側の理解や協力の上に成り立つ任意の取り組みとなります。学校から登校の許可が下りなかった場合は、学校の指示に従って下さい。



学校の受け入れが決まったら？

学校登校の目的は、「日本の小学校生活を体験すること」なので、基本的にはホストフレンドと一緒に行動し、同じ授業を受けます。学校側には、特別な時間割や歓迎行事を計画していただく必要はありません。

学校登校をお受けいただけた場合、時間割が午後までかかる日はこども大使も昼食が必要になります。学校に直接ご相談いただき、こども大使の給食をご用意いただける場合は、対応をお願いします。（大変恐れ入りますが、こども大使の給食費は各ホストファミリーで負担をお願いしております）

対応が難しい場合、またメニューに **禁制食**（きんせいしょく／宗教によって食べられないもの）が多く含まれる場合は、大変お手数ですが、こども大使にお弁当を持参させるなどの対応をお願いします。



学校の先生がよく心配されるのが、「こども大使（シャペロン）が学校登校中にケガをしたり、物を壊したりした場合は、どうしたらいいのですか？」という質問です。福岡にやって来るこども大使・シャペロンは全員「海外旅行保険」に加入しています。ケガや病気、物品の破損などについては APCC が加入している保険でカバーされます（補償の範囲内になります）。学校の児童と同じように接していただければと考えています。

その他、学校生活について

学校生活に必要なものがあれば、学校側にご確認の上、こども大使に伝えて、準備をさせてください。もし、こども大使が持参していないものがある場合には、大変恐れ入りますが、ご自宅にあるものをこども大使に貸していただけますよう、お願い申し上げます。

（例）・給食に必要なもの（水筒・ランチマット・お箸・スプーンなど）

※給食のメニューに、禁制食・アレルギー食材が含まれる場合は、お弁当を持たせていただくようお願いいたします。

また、水泳の授業がある場合に必要になるもの（水着など）や、室内履きのシューズなどは、事前にこども大使の家庭にメールなどで伝えておくことで、各自持参してもらっているご家庭もあるようですので、ご参考にしてください。

6. こんな時どうする？トラブル体験談

ホストファミリーさんには、今回が初めてのホストファミリー経験というご家庭も多くあります。また、海外を訪れること自体が初めてという子ども大使も多くいます。トラブルやうまくいかないこと、驚くこともきつとあります。そんな時は、悩まずに同じ団の他のホストファミリーさんや、APCC 事務局にご相談ください。ここでは、APCC からのアドバイスと先輩ホストファミリーさんの体験をご紹介します。

ホームシックになってしまった！

子ども大使は、まだ 11 歳。自国の家族が恋しくなって当然です。「ホームシックには、必ずかかるもの」と思っておけば、慌てることはありません。優しい気持ちと明るい笑顔で包んであげてください。ホームシックで涙を流していた子ども大使たちからは、後日「その時にホストファミリーからかけられた言葉が、とても心に残っている」という声も多く聞かれます。

この際、自国の家族と連絡を取らせることは、かえって逆効果になることが多いです。どうしても子ども大使が立ち直れない場合には、ホストファミリーだけで悩まずに、シャペロンに電話をしてみたり、同じグループのファミリーに相談してみましよう。

<ホストファミリーからの体験談>

- ・そっとしておき、気が済むまで泣かせてあげた。泣いた後は案外ケロッとしていたので、普段通りに接した。
- ・子ども達に任せた。ゲームなどを一緒にしたりしてワイワイしているうちに、気がまぎれてきたようで、笑顔になった。
- ・近くに住んでいる別の子ども大使のホームステイ先に遊びに行った。

ご飯を食べない…何を食べさせたらいいかわからない…

元々とても少食な子ども大使もいますので、様子を見てみてください。私たち日本人もそうであるように、海外に行った際、「これはいったい何だろう…？」と不安に思うものは、警戒して手を付けられないこともあります。とても手間のかかった料理を作ったのに、全然食べてもらえないと、ショックも大きいものです。パッと見て何が入っているかわかるものや、世界共通のもの（例：たまご・パン・果物など）は、子ども大使も安心して口にできると思います。それでも食が進まない場合には、子ども大使の好きな食べ物を直接本人に聞いてみたり、食卓にバナナなどを置いておいて、「おなかがいいたら、好きな時に食べていいよ」と伝えておくのも一つの方法です。

また、日本人と違い、「真っ白なごはん」が苦手な海外参加者は意外と多いです。味がついていると食べられることもあるようなので、苦手そうなきときには量を減らしたり、ふりかけなど味変できるものを食卓に置いておいたりすると、食べられることもあるようです。

<ホストファミリーからの体験談>

- ・一緒にスーパーに行き、「食べたいものを、持っておいで！」と伝え、自分で選ばせた。
- ・料理のお手伝いをしてもらい、一緒に作った。
- ・世界のどこにでもある、マクドナルドに連れて行った。フライドポテトは野菜なので、ベジタリアンでも食べられる！
- ・何か 1 つでも食べられたものがあればラッキー！くらいの気持ちでいることが大切。とりあえず何かをしっかり食べられれば、多少バランスが悪くてもよしとする。
- ・せっかくなので和食を…と思っていたが、頑張りすぎず普段通りに過ごせばよかった。

買い物にばかり行きたがってしまう…

APCC が定めたこども大使の参加条件には、「ホストファミリーがすすんでそうしない限り、買い物に行くことをせがんではいけません」という記載があります。頻繁に買い物に行きたがる場合には、「買い物は、あなたのホームステイのメインの目的ではありません」と本人に伝えてください。

また、自分の個人的な買い物は、自分のお金ですること、APCC のルールとして伝えています。ホストファミリーのご厚意で買い物に出かけた場合にも、支払いは自分でするように伝えてください。

伝えたいことは、しっかり伝えましょう

「察する」「空気を読む」というのは、日本独特の文化です。海外の人、特にこども大使に期待するのは NG です。察する文化のない外国人にとっては、言われないとわからないことはたくさんあります。日本人は遠慮しがちですが、注意したいことやお願いしたいことは、言葉にしてしっかり伝えることが、よりよい関係を築くための大切なコミュニケーションです。

こども大使の家族との連絡について

APCC では、ホストファミリーとこども大使の家族間の連絡については、特に制限はしていません。事前に聞きたいことがある場合、連絡を取りたい場合には、インフォメーションシートに書いているメールアドレスに連絡していただいてもかまいません。ただ、「メールに何が書いているかわからないので、翻訳してほしい」といった個別のお問い合わせにはお答えしかねますので、ご理解ください。

事前にこども大使の家族と連絡を取っている場合には、ホームステイ期間中にもこども大使の家族から「こどもの様子を教えてください」という連絡が入る可能性もあります。特にホームステイ期間中は負担にならないようお気をつけいただき、頻繁に連絡が来る場合や、対応が難しい場合などには、はっきり先方にお伝えください。

こども大使たちが福岡に無事到着・帰国したときの報告や、緊急時の連絡は、APCC 事務局より海外の現地窓口を通じて、こども大使の家庭に連絡を行います。特に緊急時には、連絡系統や対応に支障を及ぼしますので、海外の家族への直接の連絡は行わず、必ず APCC 事務局へ連絡してください。

SNS や個人情報に対する意識の違いについて

個人情報についての感覚や考え方、使い方については、日本と海外で大きな違いがあります。帰国後、こども大使やその家族が日本で撮った写真をすべて SNS にアップしてしまい、そこに家族や子供の顔写真、家の中が分かる写真がたくさん含まれていた！というトラブルが、最近よく起こります。APCC から海外窓口を通じ個人情報の取り扱いについて注意を促しますが、もしご家庭の方針と反するような行為があった場合には、直接こども大使のホストファミリーにお伝えください。


ホストファミリーとしての過ごし方に、正解はありません。ホームステイ受け入れでは、うまくいかないこと・戸惑うこともたくさんあります。「こうあるべき」と思いすぎたり、理想のイメージと比較しすぎず、無理のないホームステイを心がけてください。



7. 宗教や慣習の違いを理解しよう

私たち日本人には不思議に思えるようなことも、宗教上の戒律だったり、それぞれの国特有の慣習だったりすることがたくさんあります。そのような「違い」を理解し、尊重することは、国際的視野を広げることにつながります。

イスラム教、ヒンドゥー教、とひとことに言っても、その生活習慣・風習は、育った環境や家庭によって様々です。ここに記載した内容はあくまでも一般的なもので、**全員に当てはまるものではありません**。特に子ども大使の場合は、家庭・個人によっても、その敬虔さの度合いにかなりの差があります。気になることはホームステイが始まってから、本人に直接確認することが最も確実です。

	イスラム教	ヒンドゥー教
食事	宗教上の理由により、 豚肉 を食べることができません。ハムやウインナー、豚骨スープ、ゼラチンなど、豚由来のものは全て食べられません。また、牛肉や鶏肉についても有資格者の捌いた「ハラールミート」と呼ばれるお肉しか食べられない場合があります。牛乳やバター、ヨーグルトなどは家庭によって違います。	宗教上、牛は神様が乗る動物とされているので、 牛肉 は食べません。豚肉についても、家庭によって食べる家庭と食べない家庭があります。
入浴	人前で肌を出すことを避けます。そのため、シャワーやお風呂などでも、他人と一緒に入ることは嫌がりますので、ホームステイ初日にお風呂の使い方を教えてあげてください。着替えについても同じです。特に女の子はプールに入れない場合がありますので、学校登校の際やお出かけの際などにはご注意ください。	他人と一緒に入るのを嫌がる場合が多いです。特に女の子は着替えの際も、人に見られるのを避けたがる人が多いため、配慮をお願いします。
お祈り	通常、1日に5回のお祈りを捧げます。しかし、旅行中などは、まとめて行ってもよいなど、国や各家庭によっても違いますので、子ども大使にまかせてよいと思います。ただ、お祈りをする時はひとりにしてあげる配慮をお願いします。	 <p>紙袋などで、ランドリーバッグ（洗濯物を入れる袋）を作ると、洗濯の際、下着なども出してくれやすいそうです</p>
ラマダン（断食）	イスラム暦の9月に当たる期間は、日の出から日没までのあいだ、イスラム教徒の義務の一つとして飲食を絶ちます（断食）。本年度のホームステイ期間中は、ラマダンにはあたりません	
ペット	宗教上、犬と豚に触れることはできません。散歩と一緒に歩いて行く程度はできるかもしれませんが、お世話などはできないことがほとんどです。	
トイレ	トイレットペーパーを使わず、左手を使って水で洗う習慣があるため、トイレの床や便座を水で濡らしてしまうこともあります。古いバスタオルなどを用意しておくといでしょう。水で洗えるようにバケツを用意してもいいですが、経験者の方によると、ペットボトルやバケツに水を入れて置いておくを使い勝手がよかったです。また、温水洗浄便座があればよい場合もあります。	
その他	宗教上、左手は不浄の手とされており、左手で握手したり物を差し出したりしない様に注意が必要です。また、子どもの頭をなでることも避けてください。様々な理由で好ましくない行動となります。	

8. 帰国前の準備について

【注意】ここに記載したものはあくまでも、**<2026年4月現在>**の情報です。手荷物の持込条件や集合時間などは変更になる可能性もありますので、最新情報は7/4（土）開催「ホストファミリーのつどい」で、旅行会社より詳しく説明します。

パッキングの際の注意点

- (1) 出発当日に慌てなくてすむように、**荷造りは必ず前日までにしましょう**。航空会社による手荷物等の規制がありますので、こども大使のお手伝いをお願いします。
- (2) 機内に持ち込める手荷物の重量は航空会社によって異なります。1人20キロまで無料のところが多いですが、それ以上は超過手荷物料金がかかります。事前に体重計で荷物の重量をチェックしておくとう安心です。
機内に持ち込む手荷物は基本的に1人1個まで、預ける荷物もできるだけ1個以内でまとめるようにしてください。
- (3) **ハサミ、ナイフ類、先のとがったもの、バット類**等は機内持ち込みができませんので、預ける荷物に入れてください。
おもちゃのナイフや刀、ピストル型の水鉄砲などは、荷物検査で引っかかり、スーツケースを開けて中身を検査されることが多いです。これらを持って帰る場合には、取り出しやすい位置に入れておいてください。
- (4) 液体類の機内持ち込みには制限があります。機内で使う液体物、ジェルなどは小さな容器に詰め、透明で再封可能なプラスチック製袋に入れます。それ以外は預ける荷物に入れてください。
- (5) **花火・可燃性物質・高圧ガス**等は、**機内持ち込みも、預け入れ荷物の中に入れることもできません**。

忘れ物について

パッキングの際や自宅を出る前には、**「忘れ物は必ずあるもの！」**と思って **入念にチェックしてください**。

前日に着ていたものを、うっかり洗濯かごや洗濯機に入れっぱなしだった、朝使った洗面用具を置きっぱなしだった、カメラを充電していて、コンセントに差しっぱなしだった…というのは、よくあるパターンです。忘れ物を後で送ることになると、かなりの送料がかかります。APCCでお預かりすることはできませんので、くれぐれもご注意ください。

空港での集合

当日は全員が揃うまで、搭乗手続きが出来ません。交通事情により遅れる場合は、APCC事務局またはグループのリーダーまで早急にご連絡ください。また、下記の内容は現在の予定です。混雑具合などによって、変更になる場合があります。7月4日（土）のホストファミリーのつどいにて、最終のお知らせをします。

	国際線	国内線
集合場所	※未定 空港との調整により、決まり次第お知らせします	
集合時間	フライト出発時刻の 2.5 時間前	フライト出発時刻の 2 時間前

【参考】 APCC 用語集

<人や組織などに関連する用語>

用語	意味
APCC (エーピーシーシー)	「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」の英語訳。 Asian-Pacific Children's Convention in FUKUOKA の略称。
APCC 事務局	NPO 法人 アジア太平洋子ども会議・イン福岡の事務局。
ホストフレンド	ホストファミリーのお子さまで、子ども大使と同年代の小学 4 年生～小学 6 年生 1 名。
JA (ジェーイー)	「子ども大使」の英訳、Junior Ambassador (ジュニア・アンバサダー) の略。 BRIDGE Summer Camp (ブリッジサマーキャンプ)に参加する、各国・地域の子ども達。母国を代表する民間の外交官という意味で、「大使」と呼ばれる。 今年 (2026 年) は各国・地域から、男女 2～3 名ずつ・4～6 名の子ども大使が参加。年齢は 11 歳前後で、毎年対象となる子ども達の生年月日を指定しているため、子ども大使になれるチャンスは 1 回のみ。
シャペロン (CP)	子ども大使を引率する成人で、各団に 1 名のシャペロンが所属する。日本滞在中は子ども大使に同行し、保護者の役割をつとめる。英語が話せることが条件であり、通訳としての役割もある。子ども大使の「JA」に対して、「CP」と表記されることもある。(英語) Chaperon
ボランティア	APCC 事業に、ボランティアとしてご協力くださる一般市民の方々。中学生からシニア層まで、年間約 500 名近くのボランティアさんが、事業運営に携わる。
海外窓口	子ども大使やシャペロンを選抜し、APCC 事業の参加者として福岡に派遣する、APCC の海外パートナー。各国・地域の教育機関や行政、国際交流組織、学校などが多い。
パートナー窓口	APCC のパートナーとなる、福岡県内の市町村や小学校。パートナー窓口として、海外参加者の引き受け、地域で国際交流活動を実施する。ホストファミリーの募集も行う。
部会	ボランティアさんが所属するグループ。各部会には担当する職務があり、部会長や副部会長を中心に、APCC 事業の企画や実際の運営に携わる。
BC (ビーシー)	BRIDGE CLUB (ブリッジクラブ) の略。 BRIDGE CLUB は、APCC に参加し、子ども大使を経験した青年たちが、自分たちの国・地域に戻って所属する同窓会組織。自分たちの国で地域貢献活動を行ったり、子ども大使の先輩として、これから福岡にやってくる子ども大使のトレーニングを行うこともある。現在、世界に 42 のブリッジクラブが存在する。
PA (ピーイー)	「ピース大使」の英訳、Peace Ambassador (ピース・アンバサダー) の略。 ピース大使は 16 歳以上の子ども大使経験者で、各国のブリッジクラブで中心的な役割を果たす。各国のブリッジクラブから、選考を経て毎年 1 名が選ばれ、子ども大使・シャペロンと一緒に再度福岡にやってくる。期間中は、子ども大使とは異なり、ピース大使向けのプログラムに参加する。今年 (2026 年) は、15 名の PA が来福する。

BCIO (ビーシーアイオー)	<p>「ブリッジクラブ国際組織」の英訳、BRIDGE CLUB International Organization の略。各国のブリッジクラブを束ねるチームのこと。 各国のブリッジクラブでも特に中心となるメンバーで構成され、ピース大使や BC プレジデントの選抜、各国ブリッジクラブの年間活動の支援などを行う。</p>
BCIO 本部メンバー	<p>ピース大使プログラムを運営するため BCIO から選出されるメンバーのこと。彼らが中心となり、毎年開催される「ピース大使プログラムの」企画から運営までを行っている。 2026 年は、インド、オーストラリアより、2 名の本部メンバーが来福し、プログラムを運営する。</p>

<プログラムに関する用語>

用語	意味
オリエンテーション	<p>こども大使やシャペロンが福岡に到着後、時差ボケや移動中の疲れを取って体調を整えたり、他国のこども大使たちとの交流を深めるアクティビティなどに取り組むプログラム。この期間中は、男女の小グループに分かれて、お世話係の日本人ボランティアと寝食を共にし、日本の生活習慣や気候に慣れていく。</p>
マリnhaus	<p>APCC が、英語で「海の中道青少年海の家」を呼ぶ際の名称 ※APCC だけが使っている名称のため、正式な英語名とは違います。</p>
スクールビジット	<p>各団のこども大使・シャペロンが、まとめて福岡市内の小学校を 1 日訪問し、交流するプログラム。福岡市教育委員会との共催事業で、今年は 7 月 14 日（火）に実施。 ※スクールビジットに参加するのは、一部の団のみ。</p>
対面の日	<p>こども大使・シャペロンと、彼らがホームステイするホストファミリーが、初めて出会う日。</p>
学校登校	<p>こども大使が、ホームステイ先のホストフレンドが通う小学校と一緒に登校し、小学校生活を体験するプログラム。日本の小学校がどのようなところかを理解したり、同年代の日本のこども達と交流することを目的としている。 ※学校登校は、全てのこども大使が体験する。</p>
パフォーマンスイベント	<p>こども大使が、各国・地域の踊りや歌を披露するステージや世界の遊びを体験できる「APCC フェスティバル」のこと。こども大使は全員ステージに出演する。 今年は、7 月 18 日（土）に、福岡市総合体育館（照葉積水ハウスアリーナ）で開催。</p>



We are the BRIDGE



You Tube

この広い世界 両手をひろげて そっと
笑顔でつつもう 心に国境はない

手をつないだら いっしょに歩き出そう
誰もみんな きっと素晴らしい 翼を
持ってるから

※ We are the BRIDGE 心と心を 希望
の橋でつなぐ
夢を追いかけて
立ち止まらないで 明日が待っている
We are the BRIDGE みんなの笑顔が
輝く虹に変わり
胸にあふれてる
夢は必ず叶うよ
信じていて

悲しい時でも ひとりきりじゃない そ
ばに仲間がいること いつでも忘れない
でね

見上げてごらん 夜空に光る星が どん
なときも 僕たちの未来 明るく照らし
ている

We are the BRIDGE みんなの笑顔が
輝く虹に変わり
胸にあふれてる
夢は必ず叶うよ
信じていて

たとえ言葉が違ってても 同じほし（地
球）の仲間
さあ 手をとりあって歌おうよ 願いは
ひとつ・・・

※ 繰り返し

胸にあふれてる
夢は必ず叶うよ
信じていて

作詞/作曲 : 坂本 学
補作曲 : 鳥山 雄司
補作詞 : 横山 武

Words & Music by :
Manabu Sakamoto
Additional Music by :
Yuji Toriyama
Additional English Words by :
Linda Lavallee

Sometimes
It's hard to make a friend
We talk
But words keep us apart
But with hope
And Love and understanding
We find we speak
The same language in our hearts

This world has room for us all And
we could be one happy family
So let's stand hand in hand And sing
our song together And we can make
it better
Wait and see

* We are the BRIDGE of love
From heart to heart
We have a dream
For everyone to share
All our tomorrows bright and new
Starting here and now, me and

you The bridge we build
Will take us there

** We are the BRIDGE of love
From friend to friend
A rainbow bright
When all the rain is through
And if we listen to our hearts
Keep our eyes upon a star
Then someday soon
All our dreams will come true

Sometimes
The road may seem so long
We walk
But there's so far to go
But each step
Will take us that much closer
So don't give up
We'll be there before you know

This world is home for us all
And we could be one happy family
So let's stand hand in hand
And join our hearts together And
we can make it better
Wait and see

** Repeat

And when we're lonely
And we feel a little lost
If we just care for one another
You know there are no fences And
no borders we can't cross When
we are joined together

* Repeat

** Repeat

And if we listen to our hearts
Keep our eyes upon a star
Then someday soon

団員名簿

団名(英語・現地語)					
国別ミーティング 1回目	月	日()	:	~	にて
国別ミーティング 2回目	月	日()	:	~	にて
国別ミーティング 3回目	月	日()	:	~	にて
	ファミリー名	ホストフレンドの名前	小学校区	学年	海外参加者の名前
リーダー					
サブリーダー					
対面係					
会計					

※担当が決まりましたら、右の Google フォームから【リーダーと対面係の連絡先】を APCC 事務局に連絡してください。



Google フォーム

< 国別ミーティングチェック表 >

<p>1回目 (5/10 研修会)</p>	<p><input type="checkbox"/> 自己紹介 <input type="checkbox"/> グループでの役割分担 <input type="checkbox"/> 連絡先交換（名刺交換） <input type="checkbox"/> 今後の連絡手段の決定 <input type="checkbox"/> 次回のミーティング日時の設定</p>
<p>2回目 (/)</p> <p>3回目 (/)</p>	<p><input type="checkbox"/> ガイドブック（本誌）の読み合わせ <input type="checkbox"/> ホストファミリーリーダー会での連絡事項の伝達 <input type="checkbox"/> 準備・期間中のスケジュール決め <input type="checkbox"/> ウェルカムパーティー / お別れパーティーは開催する？しない？ <input type="checkbox"/> 期間中に、グループで一緒に何か行事を企画する？しない？ <input type="checkbox"/> 次回以降の国別ミーティングは、いつ、どこで、どうやって実施する？ <input type="checkbox"/> いつ、どこにシャペロンが学校登校に行く？ <input type="checkbox"/> ウェルカムグッズの作成（ウェルカムフラッグ必須）、キャンディレイ、ウェルカムボードなど（任意） <input type="checkbox"/> 受入国の文化・習慣についての勉強、情報交換 <input type="checkbox"/> 受入国の言葉、簡単な日常表現を学ぶ <input type="checkbox"/> 各グループでのルール決め（SNS の利用（特に写真の取り扱い）、各家庭のルール、緊急時の対応） <input type="checkbox"/> その他、何か困っていること、わからないこと等の相談 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>
<p>帰国後 (7~8月)</p>	<p><input type="checkbox"/> 期間中の振り返り（来年度への引き継ぎアンケートの作成） <input type="checkbox"/> 来年、同じ国を受け入れるホストファミリーへの引継ぎ事項のまとめ、など <input type="checkbox"/> 国別ファイルの回収 <input type="checkbox"/></p>

We are the BRIDGE

受け入れ国・地域

名前



APCC

NPO法人 アジア太平洋子ども会議・イン福岡

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1丁目4-13 福岡市舞鶴庁舎6階

TEL: 092-710-6102 FAX: 092-710-6103

Email hello@apcc.gr.jp • ホームページ <https://www.apcc.gr.jp/>